

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 現代文演習

教科： 国語 科目： 現代文演習 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：（1組：春川）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（大修館書店「論理国語」論国705）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 習得した知識や技能を社会や他の技能と結びつける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて情報を集め、正確に相手に伝えたり理解を得られるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 相手の立場に立ち、課題を理解し、主体的で対話的な活動を通して解決策を考える。

科目 現代文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
世界を広げる「批評」の言葉 ・筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。 ・これからの時代における「書く」「読む」力について、自分の考えをもつ。	【知識・技能】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深める。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討する。 ・「読むこと」において、文章の内容を人間、社会、自然などのテーマに結びつけて自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝える。 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなげら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	○	○	○	9
言葉を定義する ・身近な言葉について、他者にもわかるように定義する。 ・言葉の意義や機能について理解を深める。	【知識・技能】 ・定義を考えることから、言葉が言葉そのものの働きを表すことを理解する。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、定義を考えるための情報の信頼性や妥当性について適切な判断をしながら、客観化・相対化をして明確に考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉そのものに厳密に向き合う。 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。[A(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、言葉の定義を行うことをとおして、進んで言葉について理解を深めようとしている。	○	○	○	7
1 学 期 ミロのヴィーナス ・比喩的な表現に注意しつつ、論の展開をとらえる。 ・筆者の主張をふまえて、美しさについて、理解を深める。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなげら要旨を把握する。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえる。 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなげら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	11
具体的／抽象的に書く ・的確に伝わるように具体的に書いたたり抽象的に書いたたりする。	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深める。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に単元の学習を生かしながら、具体と抽象を意識して、説明文を書く。 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に単元の学習を生かしながら、具体と抽象を意識して、説明文を書こうとしている。	○	○	○	7
	定期考査		○	○		1

<p>コミュニティから見た日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフと関連づけながら本文の内容を読み取る。 ・日本社会の特徴について、理解を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえる。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえる。 <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 	○	○	○	11
<p>統計資料から分析したことを書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から読み取ったことを正確に書く。 ・自分の考えと統計資料から読み取ったことを区別して書く。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計資料を根拠として読み手に納得してもらうための文章の構成について、理解を深める。 ・作成した原稿をもとに聞き取りやすい発表をする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、統計資料を読み取り、自分の書く文章の主張を支えるために必要な情報を抽出する。 ・「書くこと」において、根拠となる情報の妥当性・信頼性に言及しつつ、それに支えられる主張を明確に書く。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に取り組む中で、自らの課題を把握し、その克服に努める。 <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計資料を根拠として聞き手に納得してもらうための文章の構成について、理解を深めている。 ・作成した原稿をもとに、聞き手が聞き取りやすい声の大きさ、早さを考えている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、統計資料を読み取り、自分の書く文章の主張を支えるために必要な情報を抽出している。 ・「書くこと」において、根拠となる情報の妥当性・信頼性に言及しつつ、それに支えられる主張を明確に書いている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に取り組む中で、自らの課題を把握し、その克服に努めようとしている。 	○	○	○	9
定期考査			○	○		1
<p>2 学期</p> <p>敬語への自覚、他者への自覚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。 ・敬語や若者言葉など、言葉と社会の関係に興味をもち、考えを深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、敬語のもつ働きに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえる。 <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、敬語のもつ働きに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 	○	○	○	11
<p>情報を集めて分類する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を観点に応じて整理・分類する。 ・整理・分類した情報をもとに、自分の考えを書く。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決める。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもって、分類の観点を意識しつつ、集めた情報を粘り強く整理する。 <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもって、分類の観点を意識しつつ、集めた情報を粘り強く整理しようとしている。 	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>分かち合う社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学説を引きながら論述する文章を読み、主張をとらえる。 ・食習慣を切り口にして人類社会の成り立ちについて考える。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、学説の引用に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえる。 <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、学説の引用に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 	○	○	○	12
	<p>意見を交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張と根拠の関係や叙述の適切さなどを吟味する。 ・他者からの指摘を受けて、自分の文章を改善する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深める。 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する。 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、意見交換のポイントを意識しつつ、積極的に他者と意見交換をする。 <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、意見交換のポイントを意識しつつ、積極的に他者と意見交換をしようとしている。 	○	○	○	9
	<p>グローバリゼーションと文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体例や対比に着目し、論の進め方を理解する。 ・グローバル化と文化や国家の関係について考えを深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体例や対比に着目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえる。 <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体例や対比に着目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 	○	○	○	12
		定期考査	○	○		1	

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 地理歴史 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：桐川）

使用教科書：（現代の歴史総合（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
歴史の扉 ①身近な事柄が、時間的な推移や空間的な結びつきのなかで歴史と結びつきをもっていることを理解する。 ②私たちの生活に関わる制度や習慣について分析する際に、歴史的に構築されていることをふまえることが大切であることを理解する。 ③資料にもとづいて歴史が叙述されていることを理解する。 ④資料の性格をふまえて批判的に読みとることについて理解する。	①歴史と私たち 現代の私たちと旅 ②歴史の特質と資料 歴史資料とは何だろうか	【知識・技能】 ・「旅」を題材に私たちの生活や身近な地域などにみられる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・「広がり」を考える際には、空間的な広がりや階層的な広がりを考えることが大切であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸資料や図版などから適切に情報を読みとり、その時代の旅の様子や現代との異同を判断している。 ・「旅」を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 ・資料や図版などから適切に情報を読みとり、時期や立場による書かれ方の違いなどを判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な題材に対して自身で「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。 ・資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。 ・資料を読みとる際の注意点を整理し、学習への見通しを立てようとしている。	○	○	○	5
第1部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界と日本の開国 ①18世紀のアジアにおける経済や文化の発達を、同時代のヨーロッパ諸国の海外進出と関連付けて考察する。 ②江戸時代の日本における産業の発達と全国市場の形成を、いわゆる「鎖国」体制と関連付けて考察し、理解する。 ③18世紀以降、日本近海に外国船があらわれるようになった理由について考察する。 ④アヘン戦争のおきた原因と戦争後の中国の変化や欧米諸国の東アジア進出について考察し、理解する。	1 18世紀の東アジアにおける社会と経済 2 貿易が結んだ世界と日本 3 産業革命 4 中国の開港と日本の開国	【知識・技能】 近代化と私たちに関して、得た知識を基に異なる意見を理解しつづ批判することができる。 【思考・判断・表現】 他人の意見に共感したうえで、自分の考えを整理・表現し、意思の疎通を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化と私たちに関して、問題点を見つけ、それを解決しようとしているか	○	○	○	8
第2章 国民国家と明治維新 ①主権国家や国民国家形成の過程について理解する。 ②国民国家形成の一方で、多民族国家という統合があった理由について考察する。 ③明治政府の進めた富国強兵の具体的な内容について理解する。 ④日清戦争がおこった背景と戦争の経過および講和条約の内容について理解する。 ⑤日露戦争から韓国併合に至る過程について理解する。	1 市民革命 2 国民国家とナショナリズム 3 明治維新 4 日本の産業革命 5 帝国主義 6 変容する東アジアの国際秩序 7 日露戦争と東アジアの変動	【知識・技能】 国民国家と明治維新に関して、学習した内容を計画を立てて実施し、それについて評価することができる。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成や日清・日露戦争に着目し、その影響や、歴史的事象を適切に判断し、自分の言葉でまとめ表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他人の話をよく聞いたうえで、自分の意見を伝えることができる。	○	○	○	7

1 学期

<p>近代化と現代的な諸課題 近代化の歴史に存在した「開発・保全」「対立・協調」「自由・制限」に関わる課題について諸資料を活用して考察し、それらが現代的な諸課題の形成にどのように関わっているのかについて理解する。</p>	<p>1 開発・保全 2 対立・協調 3 自由・制限</p>	<p>【知識・技能】 ・「開発・保全」の観点から、環境に関する諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。 ・「対立・協調」の観点から、大政奉還、王政復古の大号令および中国（清）の対外政策についての李鴻章に関する諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「開発・保全」の観点から、環境の変化の背景や原因、結果や影響などに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、表現している。 ・「自由・制限」の観点から、貿易政策の変化の背景や原因、結果や影響などに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・「対立・協調」について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。 ・「自由・制限」について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第3章 総力戦と社会運動 ①第一次世界大戦がおこった背景について考察し、理解する。 ②第一次世界大戦の開戦から終結に至る経過について理解する。 ③第一次世界大戦の総力戦としての性格について考察し、理解する。 ④ヴェルサイユ体制とワシントン体制の特徴について理解する。 ⑤ヴェルサイユ体制がドイツに与えた影響について考察し、理解する。 ⑥第一次世界大戦後におけるアメリカ合衆国の経済的繁栄が大衆社会を生み出したことについて理解する。 ⑦大衆社会の抱える負の側面について考察し、理解する。</p>	<p>1 第一次世界大戦の展開 2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 4 世界経済の変容と日本 5 アジアのナショナリズム 6 大衆の政治参加 7 消費社会と大衆文化</p>	<p>【知識・技能】 総力戦と社会運動に関して、学習した内容を計画を立てて実施し、それについて評価することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦とその後のヴェルサイユ体制に関して、海外諸国との関わりに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 総力戦と社会運動に関して、課題・問題点を見つけ、その問題点を解決しようとしているか</p>	○	○	○	5
<p>第4章 経済危機と第二次世界大戦 ①世界恐慌がおきた原因と各国の対応について考察し、理解する。 ②1920年代の日本の経済状況について考察し、理解する。 ③第二次世界大戦のおきた原因を、ドイツの領土拡大と関連づけて理解する。 ④第二次世界大戦の経過をドイツの行動を中心に理解する。 ⑤第一次世界大戦と第二次世界大戦の共通点相違点について考察する。 ⑥太平洋戦争勃発に至る経緯について理解する。 ⑦国際連盟と国際連合の共通点と相違点について考察し、理解する。 ⑧ヨーロッパにおける冷戦開始の背景とその後の東西両陣営の動向について考察し、理解する。 ⑨GHQによる占領政策の特徴について理解する。</p>	<p>1 世界恐慌の時代 2 ファシズムの伸長と共産主義 3 日中戦争への道 4 第二次世界大戦の展開 5 第二次世界大戦下の社会 6 国際連合と国際経済体制 7 占領と戦後改革 8 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 9 日本の独立と日米安全保障条約</p>	<p>【知識・技能】 経済危機と第二次世界大戦に関して、得た知識を基に異なる意見を理解しつつ批判することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 他人の意見に共感したうえで、自分の考えを整理・表現し、意思の疎通を行うことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 経済危機と第二次世界大戦に関して、問題点を見つけ、それを解決しようとしているか</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○	○	1

2 学期	<p>国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題</p> <p>国際秩序の変化や大衆化の歴史に存在した「対立・協調」「統合・分化」「平等・格差」に関わる課題について諸資料を活用して考察し、それらが現代的な諸課題の形成にどのように関わっているのかを理解する。</p>	<p>1 対立・協調</p> <p>2 統合・分化</p> <p>3 平等・格差</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「対立・協調」の観点から、日本とインドの鉄道の相違点、日本における鉄道政策をめぐる対立や鉄道事業の国有化と分割民営化など、鉄道政策に関する諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 ・「統合・分化」の観点から、移民と国民統合や国際社会に関する諸資料の情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 ・「平等・格差」の観点から、開催地からみるオリンピックや、競技数からみる格差と平等の実現に関する諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「対立・協調」の観点から、地域ごとの鉄道政策や鉄道に対する価値観の違い、地理的要因や現代社会との関連、異なる政策がもつそれぞれの長所・短所などに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 ・「平等・格差」の観点から、オリンピックの開催地や競技数にみられる男女の格差と平等の実現の観点から、地域や競技内容の違いに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「対立・協調」について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。 ・「統合・分化」について、移民と国民統合、移民と国際社会との関わりを考察し、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。 	○	○	○	7
	<p>第5章 グローバル化と私たち</p> <p>①冷戦が第二次世界大戦後に独立・建国した国々にどのような影響をおよぼしたのかを理解する。</p> <p>②冷戦構造の拡大と固定化が核軍備拡大競争につながったことについて理解する。</p> <p>③キューバ危機を境に核軍縮が徐々に進んだ理由について考察し、理解する。</p> <p>④高度経済成長の過程について理解する。</p> <p>⑤高度経済成長による日本人々の生活様式や意識の変化について考察する。</p> <p>⑥ベトナム戦争が北側勝利に終わった背景について考察、理解する。</p>	<p>1 冷戦下の地域紛争と脱植民地化</p> <p>2 東西両陣営の動向と1960年代の社会</p> <p>3 軍拡競争から緊張緩和へ</p> <p>4 地域連携の形成と展開</p> <p>5 計画経済とその波及</p> <p>6 日本の高度経済成長</p> <p>7 アジアの中の戦後日本</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>グローバル化と私たちに関して、学習した内容を計画を立てて実施し、それについて評価することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>冷戦における東西両陣営の動向と軍拡競争・緊張緩和に関して、地域連携の形成と展開に着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>グローバル化と私たちに関して、課題・問題点を見つけ、その問題点を解決しようとしているか</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	<p>第6章 世界秩序の変容と日本</p> <p>①ドル＝ショックの背景と内容、および影響について理解する。</p> <p>②オイル＝ショックの背景と影響について理解する。</p> <p>③日本の安定成長と経済摩擦の展開について理解する。</p> <p>④歴史的経緯をふまえて、現代的な諸課題を理解する。</p> <p>⑤諸資料から現代的課題の所在や、それらの原因や背景を分析するための手立てを理解する。</p> <p>⑥現代的諸課題への問題意識をもち、問いを表現できるようにする。</p>	<p>1 石油危機</p> <p>2 アジア諸地域の経済発展</p> <p>3 市場開放と経済の自由化</p> <p>4 情報技術革命とグローバリゼーション</p> <p>5 冷戦の終結とソ連の崩壊</p> <p>6 現代の東アジア</p> <p>7 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化</p> <p>8 地域統合の拡大と変容</p> <p>9 地域紛争と国際社会</p> <p>10 現代と私たち</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>世界秩序の変容と日本に関して、得た知識を基に異なる意見を理解しつつ批判することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>他人の意見に共感したうえで、自分の考えを整理・表現し、意思の疎通を行うことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>世界秩序の変容と日本に関して、問題点を見つけ、それを解決しようとしているか</p>	○	○	○	5
3 学期	<p>現代的な諸課題の形成と展望</p>	<p>①歴史的な見方や考え方を生かして、現代的な諸課題を考察する方法を理解する。</p> <p>②現在の課題解決や将来を構想するうえで、歴史的な見方・考え方を活用することが有効であることを理解する。</p> <p>③現代的諸課題に対して、歴史的な問いを立て、これまでの学習をもとに考察し、表現できるようにする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料から問いを立てることができることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。 ・身近な課題を考察するうえで歴史的な見方や考え方を活用することが、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連づけたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について考察、構想し、表現している。 ・資料に対し、その時代や資料を記録したものの立場などを文脈に応じて分析し、資料の意義を考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身で問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとしている。 ・分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自身の考えをより良いものに改善しようとしている。 ・よりよい社会の実現を視野に歴史的な見方・考え方をいかそうとしている。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：二宮）

使用教科書：（詳述政治・経済（実教出版））

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】 政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、自らの在り方生き方について思索を深め、社会の中で生きる自らの立ち位置について考察する。

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現代社会の諸課題の解決に向けて探求するために、手掛かりとなる概念や理論などについて理解し、社会の在り方に関わる情報を調べ、まとめる技術を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方を身に付け、基準を根拠に構想する力や構想したこととの妥当性、実現可能性などを指標にして議論・判断し、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、主権を担う公民として自国の発展に寄与することや、国際社会において国家及び社会の形成者として積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A. 世界の政治の動向 ・現代の民主主義政治の基本的な知識を身につけさせる。 ・政治制度の違いを理解し、その対比を用いてよりよい政治運営について考察させる。 ・これからの国際協力の在り方について考察させる。	・国際政治の特質と国際法 ・民主政治と人権保障の発展 ・世界の政治体制 ・国際連合と国際協力	・現代民主政治の成り立ちについて理解できている。 ・国際協力の成り立ちについて理解できている。 ・政治体制の違いを踏まえた政治体制考察ができている。	○	○	○	5
B. 現代国際政治の動向 ・第二次世界大戦以後の世界の政治の動向について基本的な知識を身につけさせる。 ・ナショナリズムや冷戦による対立構造といった歴史的背景を踏まえた考察をさせる。 ・現代の紛争問題や難民問題に対して主体的に解決策を考える姿勢を身につけさせる。	・冷戦 ・核兵器と軍縮 ・国際紛争と難民問題	・冷戦やその後の核軍縮の流れについて基本的な知識を理解できている。 ・冷戦が与えた影響や軍縮の是非について考察することができている。 ・現代の紛争問題・難民問題について主体的に探究し、考察することができている。	○	○	○	8
C. 戦後政治の歩み—日本の政治 ・戦後日本の政治の在り方について基本的な知識を身につけさせる ・現在の選挙制度について課題を探究し、その改善策について考察させる。 ・政治参加の意義について考え、主体的に政治にかかわる姿勢を身につけさせる。	・日本の政治機構 ・選挙制度 ・政治参加 ・戦後政治の歩み	・日本の政治機構の基本的な知識を理解できている。 ・選挙制度の違いを理解し、より適した選挙手法について考察することができている。 ・政治に対する興味関心を持ち、その関わりについて主体的に考察できている。	○	○	○	8
D. 世界と日本の関わり ・国際政治における日本の立ち位置について基本的な知識を身につけさせる。 ・世界の現状とそれに伴う安全保障について考察させる。 ・国際社会における日本の在り方について主体的に考察させる。	・国際政治と日本 ・世界の安全保障と国際協力	・国際社会における日本の立ち位置、在り方について基本的な知識を理解できている。 ・国際紛争に関わる知識を用いて安全保障の在り方について考察できている。 ・これからの国際社会における日本の在り方について考察できている。	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	E. 経済の歩み ・現代経済の基本的な知識を身に付けさせる。 ・資本主義の在り方について批判的に考察させる。 ・資本主義経済における格差問題などの欠点の解決について、主体的にかかわろうとする姿勢を育てる。	・経済社会の形成と変容 ・市場機構 ・商品・資本の流れと国際収支 ・国際経済体制の変化	・現代の経済システムについて理解できている。 ・市場経済のメカニズムが理解できている。 ・国際的な資本の流れの特徴について理解できている。 ・国際経済の在り方について、格差問題などを踏まえた考察ができている。	○	○	○	6
	F. 日本経済における特徴と課題 ・金融、財政について基本的な知識を身に付けさせる。 ・消費者問題や労働問題などについて基本的な知識を身に付けさせる。 ・消費者問題や労働問題などといった課題に対して、改善策を考察させる。 ・社会保障の役割について考え、これからの日本にはどのような保証が必要か主体的に考える姿勢をはぐくむ。	・金融 ・財政 ・消費者問題 ・労使関係と労働条件 ・社会保障の役割	・財政、金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ・各経済的問題について基本的な知識を理解できている。 ・各経済的問題について、予防と解決策を考察できている。 ・社会保障の在り方について、主体的に考えることができている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	G. 国際社会の経済 ・国際経済における特徴について基本的な知識を身に付けさせる。 ・国際的な経済協力体制の利点、欠点について考察させる。 ・これからの国際協力の在り方について主体的に考える姿勢をはぐくむ。	・グローバル化と世界金融 ・地域経済統合と新興国の台頭 ・経済協力体制	・国際経済における特徴について基本的な知識を理解できている。 ・国際的な経済協力体制の利点、欠点について考察できている。 ・これからの国際協力の在り方について主体的に考えることができている。	○	○	○	8
	H. 国際社会の諸課題—経済 ・国際社会における経済的な課題について基本的な知識を身に付けさせる。 ・国際経済の課題の解決策について考察させる。 ・持続可能な国際社会の形成について、主体的にかかわろうとする姿勢を育む。	・国際経済格差の是正と国際協力 ・持続可能な国際社会	・国際社会における経済的な課題について基本的な知識を理解できている。 ・国際経済の課題の解決策について考察することができる。 ・持続可能な国際社会の形成について、主体的にかかわる姿勢ができている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	I. 国際社会の諸課題—政治 ・国際社会における政治的な課題について基本的な知識を身に付けさせる。 ・課題の解決策について考察させる。 ・持続可能な国際社会の形成について、主体的にかかわろうとする姿勢を育む。	・紛争問題 ・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容	・国際社会における政治的な課題について基本的な知識を理解できている。 ・個別具体の題材について自ら探究し、その解決策について考察することができる。 ・これからの社会の在り方について、現状の把握やその課題解決を含めた持続可能性の観点について、主体的に調べ、かかわろうとする姿勢を持っている。	○	○	○	6
	J. 現代日本における諸課題の探究 ・日本経済の課題について基本的な知識を身に付けさせる。 ・これからの日本の政治・経済の在り方について考察させる。 ・これからの日本の政治・経済の在り方について主体的にかかわろうとする姿勢を育む。	・地域社会の自立と政府 ・歳入・歳出両面での財政健全化	・日本経済の課題について基本的な知識を理解できている。 ・これからの日本の政治・経済の在り方について考察できている。 ・これからの日本の政治・経済の在り方について主体的にかかわろうとする姿勢を持つことができている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画

高等学校 令8年度（2学年用）

教科

数学

科目 数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： (1組：瀧澤・宮崎) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書： (新編 数学Ⅱ 数研出版)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。	・第1章第1節 式の計算	【知識・技能】 多項式の因数分解や割り算などの計算を理解している。 【思考・判断・表現】 分数式を分数と同じように約分、通分して扱うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多項式の割り算の計算方法を理解しようとする態度がある。恒等式の性質を理解し、具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	12
・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。	・第1章第2節 等式・不等式の証明 ・第2章第1節 複素数と2次方程式の解	【知識・技能】 恒等式 $A = B$ の証明を、適切な方法で行うことができる。 【思考・判断・表現】 不等式の証明に、実数の性質・平方の大小関係・絶対値の性質・相加平均・相乗平均の大小関係を利用できるように、式変形を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不等式の証明を通じて、三角不等式に興味・関心をもち、それを利用しようとする。	○	○	○	16
・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	・第2章第2節 高次方程式	【知識・技能】 因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 多項式を1次式で割ったときの余りについて、剰余の定理で考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1の3乗根の性質に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	16
・座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	・第3章第1節 点と直線 ・第3章第2節 円	【知識・技能】 与えられた条件を満たす直線や円の方程式の求め方を理解している。 【思考・判断・表現】 円の方程式が x, y の2次方程式で表されることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知らうとする。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>・ 図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>・ 第3章第3節軌跡と領域</p>	<p>【知識・技能】 軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 【思考・判断・表現】 平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 点を満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。</p>	○	○	○	16
	<p>・ 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 ・ 加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>・ 第4章第1節三角関数 ・ 第4章第2節加法定理</p>	<p>【知識・技能】 単位円周上の点の座標を、三角関数を用いて表すことができる。三角関数を含む2次方程式の解き方を理解している。加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 2倍角の公式を利用して、三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式の角を統一して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比の定義を一般化して、三角関数の定義を考察しようとする。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>・ 指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>・ 第5章第1節指数関数</p>	<p>【知識・技能】 累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。底と1の大小に注意して、指数関数を含む不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 累乗根の性質に興味を示し、具体的に証明しようとする。</p>	○	○	○	15
	<p>・ 対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。】</p>	<p>・ 第5章第2節対数関数</p>	<p>【知識・技能】 対数の様々な性質を利用してきている。常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 指数と対数との相互関係に興味・関心を持っている。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>・ 微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・ 導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにする。</p>	<p>・ 第6章第1節微分係数と導関数 ・ 第6章第2節関数の値の変化</p>	<p>【知識・技能】 導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。 【思考・判断・表現】 導関数を表す種々の記号を理解して、それらを適切に使うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 関数の増減や極値を調べ、3次関数のグラフをできるだけ正しくかこうとする。</p>	○	○	○	17
	<p>・ 積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>・ 第6章第3節積分法</p>	<p>【知識・技能】 定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の対称性に着目した面積計算をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 定積分の性質を利用して、計算がなるべく簡単になるように工夫して計算しようとする意欲がある。</p>	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科： 理科 科目： 化学基礎 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組
 教科担当者： （1組： 山田 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）
 使用教科書： （ 第一学習社 改訂 新化学基礎 ）

教科 理科 の目標：
 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎	の目標：
【知識及び技能】	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	自然の事物・現象の中に問題を見だし、質的・量的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	物質とその変化について主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	物質の構成 【知識及び技能】 元素と物質の分類について学ぶ。 状態変化と熱運動について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 物質を分離・精製する方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 18-31 第1章第1節「物質とその構成要素」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	物質の構成粒子 【知識及び技能】 原子の構造について学ぶ。 周期表について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 電子配置と周期表の属や周期との関連性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 32-45 第1章第1節「物質とその構成要素」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	5
	粒子の結合 【知識及び技能】 化学結合について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 結合と物質の性質との関連性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 48-77 第1章第2節「化学結合」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	物質と化学反応式 【知識及び技能】 物質について学ぶ。 化学反応式について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応に関与する物質の量的関係を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 84-113 第2章第1節「物質と化学反応式」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	酸と塩基の反応 【知識及び技能】 酸と塩基の定義について学ぶ。 中和反応について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 中和反応に関与する物質の量的関係を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 118-141 第2章第2節「酸・塩基とその反応」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
3 学 期	酸化還元反応 【知識及び技能】 酸化還元の定義について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応に関与する物質及び電子の量的関係を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p. 144-167 第2章第3節「酸化還元反応」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（ 1組：谷野 ）

使用教科書：（ 大修館 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくりの運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保することができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
球技（バドミントン） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	バドミントン	【知識・技能】 それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	10
1 学期 体づくり運動 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができるようにする。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	体づくり運動	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
ウインドサーフィン ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする ・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。	ウインドサーフィン	【知識・技能】 それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	10

2 学 期	ウインドサーフィン	ウインドサーフィン	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 	○	○	○	10
	武道（柔道）	柔道	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などについて理解している。 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとするなど、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	9
	球技（バスケットボール）	バスケットボール	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 	○	○	○	9
3 学 期	陸上競技（持久走）	持久走	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けようとしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにしている。 	○	○	○	8
	球技（ソフトボール）	ソフトボール	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 	○	○	○	7

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科： 保健体育 科目： 保健 単位数： 1 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 組
 教科担当者：（1組：谷野）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（大修館 現代高等保健体育）

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知識及び技能】 保健に関する様々な分野において必要な知識を正確に習得する。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 授業で得た知識や技能を実生活に活かせるようにする。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 自己の心身の健康や環境衛生等に興味・関心を持って主体的に取り組むようにする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。	ライフステージと健康	【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。	思春期と健康	【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
1 学期 ・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	性意識と性行動の選択	【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3

	<p>・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。</p> <p>・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。</p> <p>・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。</p> <p>・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。</p> <p>・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。</p> <p>・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。</p>	<p>妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
定期考査				○	○	○	1
	<p>・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。</p> <p>・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。</p>	<p>中高年期と健康</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高年期を健康やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>・働くことの意味と健康とのかわりについて説明できる。</p> <p>・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。</p> <p>・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。</p> <p>・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。</p> <p>・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。</p> <p>・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。</p>	<p>働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ・労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
2 学 期	<p>・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。</p> <p>・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。</p> <p>・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。</p> <p>・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。</p> <p>・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。</p> <p>・産業廃棄物の処理について説明できる。</p>	<p>大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染 環境と健康にかかわる対策</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>・ごみの処理の現状とその課題について説明できる。</p> <p>・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。</p> <p>・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。</p> <p>・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。</p>	<p>ごみ処理と上下水道の整備 食品の安全性 食品衛生にかかわる活動</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
定期考査				○	○	○	1

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 保健行政の役割について例をあげて説明できる。 保健サービスの活用の例をあげることができる。 わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 さまざまな医療機関の役割について説明できる。 医薬品の正しい使用法について説明できる。 医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。 	<p>保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<ul style="list-style-type: none"> 国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。 健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。 	<p>さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 自他の健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方に基いた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人の健康の保持増進につながるについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
定期考査				○	○	○	1

高等学校 令和8年度（2学年用）教科

外国語

科目

英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語

科目： 英語コミュニケーションⅡ

単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：中村・竹田・仙波）

使用教科書：（PANORAMA English Communication2 大修館）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や表現などの理解を深め、知識を応用し、5技能を用いて、場面等に応じて活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 外国語で話し手の書き手の意図や考えを理解し、それらを活用して自分の意図や考えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書					
Lesson1 World Panoramas 【知識及び技能】 関係詞や分詞構文を用いた文の意味や働きを理解し、世界の国々について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 読んだ内容について書いてまとめるために、世界の国々について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 読んだ内容について書いてまとめるために、世界の国々について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	Part 1: New York の特徴と社会課題について理解する。 Part 2: Kenya の特徴と環境問題について理解する。 Part 3: Bhutan の特徴とその社会変化について理解する。 Part 4: Australia の特徴と環境問題について理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	25	
Lesson3 Sleep 【知識及び技能】 S+V（知覚動詞）+O+C（現在分詞／過去分詞）・形式目的語 it・疑問詞+do you think ～?を用いた文の意味や働きを理解し、睡眠について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 読んだ内容について書いてまとめるために、睡眠に関連する話題について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 読んだ内容について書いてまとめるために、睡眠に関連する話題について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	Part 1: 人間や動物の睡眠について理解する。 Part 2: 眠りの段階と夢について理解する。 Part 3: 睡眠と健康の関係について理解する。 Part 4: よい睡眠をとる方法について理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	25	
定期考査							○			1	

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： （1組：ミヤ スルターンムハンマド）

使用教科書： （新家庭総合 実教出版）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらにかかる技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】
	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	家族・家庭および社会 【知識及び技能】 家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や、男女の平等と協力、社会との関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 統計や家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、論理的に解決策を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができる。	家族・家庭の機能と家族関係 家族・家庭と法律 家庭生活と福祉 男女の平等と協力 家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性 社会保障制度	【知識・技能】 家族・家庭、世帯、親族などの違いを理解できたか。 家族・家庭と社会の関わりについて理解できたか。 民法の条文を読み取り理解することができたか。 社会保障制度の仕組みと活用や、現在の日本の社会保障制度の課題について理解できたか。 【思考・判断・表現】 統計や家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、論理的に解決策を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができたか。	○	○	○	10
	青年期の自立 【知識及び技能】 青年期の課題である自立や意思決定の重要性、社会との関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができる。	各ライフステージの特徴と課題 青年期の課題である自立 意思決定の重要性	【知識及び技能】 青年期の課題である自立や意思決定の重要性、社会との関わりについて理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができたか。	○	○	○	10
	衣生活の科学と文化 【知識及び技能】 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服、衣服が持つ機能や安全性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服を鑑み、人はなぜ衣服を着るのか考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。	衣生活を取り巻く課題 日本と世界の衣文化 被服と人との関わり	【知識及び技能】 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服、衣服が持つ機能や安全性などについて理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服を鑑み、人はなぜ衣服を着るのか考えることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとしたか。	○	○	○	8

2 学 期	衣生活の科学と文化 【知識及び技能】衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識や、縫製技術を身につけることによって、衣服を適切に選択し管理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。	身体特性と被服の機能及び着装 健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理 被服材料 被服構成 被服製作 被服管理	【知識及び技能】衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識や、縫製技術を身につけることによって、衣服を適切に選択し管理することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができたか。 【学びに向かう力、人間性等】衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとしたか。	○	○	○	16
	生活を支える経済 【知識及び技能】生活における経済と社会のかかわりや、家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。	家計の構造 生活における経済と社会との関わり 生涯を見通した経済の管理、計画 ライフステージごとの課題や社会保障制度との関連	【知識及び技能】生活における経済と社会のかかわりや、家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができたか。 【学びに向かう力、人間性等】自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしたか。	○	○	○	10
3 学 期	消費行動と意思決定 【知識及び技能】消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけているか。 【思考力、判断力、表現力等】消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を意欲的に考えようとしている。	消費生活の現状と課題 消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性 消費者問題 契約の重要性 消費者保護の仕組み	【知識及び技能】消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけているか。 【思考力、判断力、表現力等】消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を意欲的に考えようとしたか。	○	○	○	8
	持続可能なライフスタイルと環境【知識及び技能】家庭生活と資源・環境との関係や持続可能な消費について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題をみつけ、解決の方向性を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けた消費行動について意欲的に考えようとしている。	生活と環境との関わり 持続可能な消費 持続可能な社会への参画	【知識及び技能】家庭生活と資源・環境との関係や持続可能な消費について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題をみつけ、解決の方向性を判断することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けた消費行動について意欲的に考えようとしたか。	○	○	○	8

高等学校 令和8年度（2学年用）

総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：ミヤ スルターンムハンマド、桐川 龍馬、塩野 七望）

使用教科書：（ ）

総合的な探究の時間の目標：

- 【知識及び技能】 課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、情報を集め、整理・分析して、まとめることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 課題に主体的・協働的に取り組み、互いの良さを生かしながらよりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究活動に関し、情報を収集・整理・分析することで、探究の手法を知り、身に付ける。小笠原の豊かな自然の大切さとそれを保護する方法を知ると共に環境保全の在り方を探る。	探究課題について、思考し自分なりの言葉で表現する。小笠原が抱える課題について探究・発表することで探究心と問題解決能力及び表現力を高める。	地域社会を作る力を育むと共に、道徳性を養う。将来に向けて自己の在り方を考え、より良い生き方を選択する能力を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	調査・実験方法をまとめよう	前年度に仮説を立て、調査・実験方法を考えるところまで進んでいるので、振り返りを行い、進捗を確認して調査・実験方法をグループワークを通してまとめる。 一人1台端末の活用	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	1
	調査・実験を行い、ポスターにまとめよう	調査・実験を行い、結果をもとに考察・まとめを行う。ビーデ祭の展示を目指して作成していく。 一人1台端末の活用	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	5
	ポスター発表をしよう	ポスター形式の発表を行い、将来の進路に役立てられるようにする。	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	2
	新しい探究テーマを選定しよう	自身の進路に絡めた探究テーマを選定する。	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	2
2 学 期	選定したテーマについて探究活動を行い、スライド形式にまとめよう	研究背景・研究目的・研究方法等を自身で考え、実際に調査を行い探究活動を深めていく。	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	10
	修学旅行事前学習 東日本大震災と原子力発電について	東日本大震災と原子力発電について情報収集を行い社会課題を見いだす。課題解決のため、情報収集・整理・分析手順を理解する。 一人1台端末の活用	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	5
3 学 期	修学旅行事後学習 東日本大震災と原子力発電について	東日本大震災と原子力発電のその後を理解する。 スライドにまとめて発表を行う。 一人1台端末の活用	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	5
	選定したテーマについて探究活動を行い、スライド形式にまとめよう	実際に行った調査の結果をもとに考察・まとめを行う。	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	5

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学 科目： 数学B 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： （1組： 瀧澤 美和 （組： ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書： （ 数研出版 新編 数学B ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関りについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけようとする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の家庭や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 1 数列と一般項 2 等差数列 3 等差数列の和	【知識・技能】 ・等差数列の一般項・等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。 【思考・判断・表現】 ・等差数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 ・等差数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・等差中項の性質に興味をもち、問題解決に取り組もうとする。 ・等差数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	○	○	○	7
等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 4 等比数列 5 等比数列の和	【知識・技能】 ・等比数列の一般項・等比数列の和の公式を、適切に利用して数列の和が求められる。 【思考・判断・表現】 ・等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 ・等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・等比中項の性質に興味をもち、問題解決に利用しようとする。 ・等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	○	○	○	7
和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。	第1章 数列 第2節 いろいろな数列 6 和の記号Σ 7 階差数列 8 いろいろな数列の和	【知識・技能】 ・記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 【思考・判断・表現】 ・数列の和を記号Σで表して、和の計算を簡単に行うことができる。 ・数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。 ・群数列に興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	7
数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。	第1章 数列 第2節 いろいろな数列 9 漸化式	【知識・技能】 ・漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができる。 ・おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

1
学期

2 学 期	数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	第1章 数列 第2節 いろいろな数列 10 数学的帰納法	【知識・技能】 ・数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。 【思考・判断・表現】 ・自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	○	○	○	5
	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1 確率変数と確率分布 2 確率変数の期待値と分散 3 確率変数の和と積	【知識・技能】 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・複雑な確率分布の期待値を、確率変数の和の期待値の公式などを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 4 二項分布 5 正規分布	【知識・技能】 ・反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。 ・正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換できる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。 ・正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差の公式について、確率分布の定義から導こうとする。 ・現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	
3 学 期	母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 6 母集団と標本 7 標本平均の分布	【知識・技能】 ・母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することを理解し、母平均、母標準偏差を求めることができる。 ・母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することについて考察できる。 ・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大数の法則に興味をもち、標本の大きさnが大きくなる時の分布曲線の変化を、コンピュータなどを用いて積極的に調べようとする。	○	○	○	7
	母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 8 推定 9 仮説検定	【知識・技能】 ・信頼区間の考え方をを用いて、母平均や母比率の推定ができる。 ・仮説検定の考え方をを用いて、日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。 【思考・判断・表現】 ・片側検定と両側検定の違いを理解し、どちらの検定をするか正しく判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・母平均や母比率の推定に関心を示し、信頼区間の幅と標本の大きさや信頼度との関係を考察しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科： 理科 科目： 物理基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： (1 組：山田) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書： (第一学習社 改訂 新物理基礎)

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	物体の運動 【知識及び技能】 物体の運動について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.10-39 第1章第1節「物体の運動」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	12
	力と運動の法則 【知識及び技能】 物体にはたらく力とその運動について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 物体にはたらく力とその運動について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.40-75 第1章第2節「力と運動の法則」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 力学的エネルギーと仕事について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 力学的エネルギーと仕事について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.76-93 第1章第3節「仕事と力学的エネルギー」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	7
	熱とエネルギー 【知識及び技能】 熱と温度について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 熱と温度および仕事について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.98-111 第2章第1節「熱とエネルギー」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	波の性質 【知識及び技能】 波の性質と波動現象について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 波の性質と波動現象について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.116-131 第3章第1節「波の性質」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	7
音波 【知識及び技能】 音の伝わり方や固有振動について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 音の伝わり方や固有振動について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.132-145 第3章第2節「音波」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	7	
定期考査			○	○		1	

3 学 期	電荷と電流 【知識及び技能】 電気と物質の電気抵抗について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 電気と物質の電気抵抗について。規則性や関連性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.150-165 第4章第1節「電荷と電流」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	電流と磁場 【知識及び技能】 電流と磁場について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 電流と磁場について、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.166-173 第4章第2節「電流と磁場」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	4
	エネルギーとその利用 【知識及び技能】 さまざまな発電方法や放射線の性質を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーの特性や利用などについて、規則性や関係性を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養う。	教科書p.174-179 第4章第3節「エネルギーとその利用」	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 地学基礎

教科： 理科 科目： 地学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：加藤）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（地学基礎（東京書籍））

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるよう

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	観察、実験などの探究的な活動を通して科学の方法を習得することを目標にし、地球や地球を取り巻く環境に対する物事を多角的に考察し、表現する能力を高める。	地学的な事物・現象の中から問題を見いだし、観察、実験などを通して探究の過程をたどることによって科学の方法を習得し、地学的に探究する能力と態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 大地とその動き 【知識及び技能】 地球の大きさ、構造、プレートの動きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球の大きさ、構造、プレートの動きを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球の大きさ、構造、プレートの動きを知ろうとする。	・P14～30 ・QR教材	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	7
	B 単元 火山活動と地震 【知識及び技能】 火山噴火の多様性、火成岩、地震の発生と場所を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球の構造について物質から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球の構造について知ろうとする。	・P32～49 ・QR教材 ・岩石モデルの観察	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	7
	C 単元 地球の熱収支 【知識及び技能】 大気構造、熱収支を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大気で起こる現象を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 大気構造、熱収支を知ろうとする。	・P52～58 ・QR教材	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	D 単元 大気と海水の運動 【知識及び技能】 運動の原因、循環、海水運動、相互作用を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大気と海洋の相互作用を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 各現象を知ろうとする。	・P60～73 ・教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 単元 宇宙の構造と進化 【知識及び技能】 誕生、太陽系について正しく知ろうとする。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽系の構成を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 太陽と地球について知ろうとする。	・P76～95 ・一人1台端末の活用 ・QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6
	B 単元 地層と化石の観察 【知識及び技能】 地層の形成を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地層から分かる情報を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 知識と情報を活用しようとする。	・P98～102 ・一人1台端末の活用 ・QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	5
		定期考査		○	○		1
	C 単元 古生物の変遷と地球環境 【知識及び技能】 地球史の初期を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 先カンブリア期、古生代、中生代、新生代を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 知識と情報を活用しようとする。	・P106～127 ・一人1台端末の活用 ・QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	9
D 単元 日本の自然の恵みと防災 【知識及び技能】 自然環境の特徴、恵み、防災を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 気象災害、地震災害、火山災害を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 知識と情報を活用しようとする。	・P130～144 ・一人1台端末の活用 ・QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	6	
	定期考査		○	○		1	

3 学 期	A 単元 地球環境の考え方、自然環境の変動 【知識及び技能】 考え方、環境の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 考え方、環境の変化を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 知識と情報を活用しようとする。	・P148～156 ・一人1台端末の活用 ・QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	4
	B 単元 これからの地球環境 【知識及び技能】 世界の取り組み、代替エネルギーを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な発展を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 知識と情報を活用しようとする。	・P162～169 ・一人1台端末の活用 ・QR教材の活用	【知識・技能】 知識・技能に関する考查問題が解ける。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和年8度（2学年用） 教科

芸術

科目 音楽Ⅱ

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組

教科担当者：（1組：無量井）

使用教科書：音楽Ⅱ Tutti+（大修館）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】音楽を形成している要素や、それに関する用語や記号などを理解し、演奏表現に生かす。

【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージを持って、創意工夫した演奏表現ができる。

【学びに向かう力、人間性等】自ら知識及び技能を獲得したり、主体的で協動的に学習活動に取り組む。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声を理解し、歌唱技能を身に付ける。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方を身に付ける。 ・他者との調和を生かして歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う技能を獲得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現にかかわる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の学習に粘り強く取り組んだり、自ら学習しようとする意志をもち、主体的・共動的に取り組む。 ・総合芸術において、物語と音楽の関わりがどのように影響しあって発展したか、音楽と他の文化との関係に関心を持ち、学習活動に取り組む。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 鑑賞				評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創	賞					
校歌歌唱 【知識及び技能】 発声に必要な腹式呼吸の基礎を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 歌詞を伝えるために必要な発音法や歌詞の理解を深め、豊かな音楽性を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自宅練習に取り組み、暗譜する。自己評価や周りからどのように聞こえているか、コメントを出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌の歌詞の内容について考える。 ・教材：配布楽譜 ・一人1台端末の活用：伴奏を録音し、自宅学習に活かす。 	○	○	○	○	【知識・技能】 腹式呼吸の試みレガートに歌えているか。暗譜へのとりくみ。頭声の響きを意識できているか。 【思考・判断・表現】 歌詞の伝え方、強弱の工夫。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に粘り強く取り組んだり、自ら学習しようとする意志をもち、主体的・共動的に取り組んでいるか。	○	○	○	8
イタリア歌曲歌唱 【知識及び技能】 腹式呼吸を意識し、ベルカント唱法に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 イタリア語の発音では母音をより明確に発音し、フレーズを意識した強弱を付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自宅練習に取り組み、暗譜する。自己評価や周りからの評価を聞き、自分の演奏能力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> ・Core`ngrato ・Piacer d`amor ・教材：Tutti plus ・一人1台楽器の活用：キーボードを使い正しい音程で階名歌唱する。 	○	○	○	○	【知識・技能】 腹式呼吸とベルカント唱法への取り組み。レガートに歌えているか。音域により頭声と胸声を使い分けられているか。 【思考・判断・表現】 自分に合った曲が選べているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に粘り強く取り組んだり、自ら学習しようとする意志をもち、主体的・共動的に取り組んでいるか。	○	○	○	8
1 学期 篠笛演奏 【知識及び技能】 基本の吹き方、運指を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 同じ運指で息の強弱による高低差を吹き分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自己評価や周りからの評価を聞き、自分の演奏能力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> ・教材：Tutti plus ・教材：・ひらいたひらいた ・さくらさくら ・一人1台楽器の活用：篠笛 	○	○	○	○	【知識・技能】 唱歌による歌い伝えを知る。篠笛の奏法、特徴を生かした音楽表現ができる。 【思考・判断・表現】 篠笛の音色に関心を持ち、基礎的な奏法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に粘り強く取り組んだり、自ら学習しようとする意志をもち、主体的・共動的に取り組んでいるか。				8

	<p>土笛製作 【知識及び技能】 オカリナの基本の吹き方、運指を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 オカリナに限らず、自ら作製したい土笛をイメージして形にする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己評価や周りからの評価を聞き、自分の演奏能力を伸ばす。</p>	<p>芸術合同授業 ・土笛製作 ・演奏 ・録音 ・コマドリ動画制作</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 自ら作製する楽器の良さを知る。 オカリナの奏法、特徴を生かした音楽表現ができる。 【思考・判断・表現】 土笛の音色に関心を持ち、基礎的な奏法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 製作学習に粘り強く取り組んだり、自ら学習しようとする意志をもち、主体的・共動的に取り組んでいるか。</p>	○	○	○	8
2 学 期	<p>ドイツ歌曲歌唱 【知識及び技能】 腹式呼吸を意識し、レガート歌唱に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 子音を明確に発音し、ウムラウトの発音練習に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 自宅練習に取り組む、暗譜する。 自己評価や周りからの評価を聞き、自分の演奏能力を伸ばす。</p>	<p>・Auf Fluegeln des Gesanges ・Ich liebe dich ・Im wunderschönen Monat Mai ・教材：Tutti plus ・一人1台端末の活用：キーボードを使い正しい音程で階名歌唱する。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 腹式呼吸への取り組み、レガートに歌えているか。 音域により頭声と胸声を使い分けられているか。 【思考・判断・表現】 自分に合った曲が選んでいるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に粘り強く取り組んだり、自ら学習しようとする意志をもち、主体的・共動的に取り組んでいるか。</p>	○	○	○	8
	<p>日本歌曲歌唱 【知識及び技能】 腹式呼吸を意識し、頭声の響きを意識した歌唱に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 子音を明確に発音し、鼻濁音の発音練習に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 自宅練習に取り組む、暗譜する。 自己評価や周りからの評価を聞き、自分の演奏能力を伸ばす。</p>	<p>・からたちの花 ・落葉松 ・教材：Tutti plus ・一人1台端末の活用：キーボードを使い正しい音程で階名歌唱する。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 腹式呼吸への取り組み。 頭声に響かせて歌えているか。 音域により頭声と胸声を使い分けられているか。 【思考・判断・表現】 自分に合った曲が選んでいるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に粘り強く取り組んだり、自ら学習しようとする意志をもち、主体的・共動的に取り組んでいるか。</p>	○	○	○	8
	<p>交響曲第9番 【知識及び技能】 ベートーヴェンの時代背景を知る。 『歓喜の歌』テーマ部分のドイツ語の歌唱練習をする。 【思考力、判断力、表現力等】 歌詞の意味を考える。 歌詞の内容に沿った表現力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 古典派の音楽家について調べる。</p>	<p>鑑賞と合唱 教材：tutti Plus L. V. BEETHOVEN第九交響曲より『歓喜の歌』 op125</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 ベートーヴェンとフランス革命について調べ、音楽と歴史の関係性について知る。 ドイツ式発声法を試みる。 【思考・判断・表現】 作曲家が楽譜に込めた思いを読み解く。 ドイツ語のディクシオンを学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 総合芸術において、物語と音楽の関わりがどのように影響しあって発展したか、音楽と他の文化との関係に関心を持ち、学習活動に取り組んでいるか。</p>	○	○	○	4

	<p>ウクレレ演奏</p> <p>【知識及び技能】 ウクレレで4つのコードを演奏、発表する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 小笠原古謡の魅力を理解し、良さを自分の演奏に取り入れる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 授業内練習に取り組み、暗譜する。自己評価や周りからの評価を聞き、自分の演奏能力を伸ばす。</p>	<p>小笠原古謡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レモン林 ・丸木船 ・夜明け前に <p>・一人1台楽器の活用：ウクレレ</p>	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 小笠原古謡から曲を選び、ペアでウクレレ演奏、歌に分かれて練習を行う。弾き歌いが可能な生徒はソロで弾き歌う。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分に合った曲を選び、歌えているか。ウクレレの奏法、リズムを無理なく演奏できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習に粘り強く取り組んだり、自ら学習しようとする意志をもち、主体的・共動的に取り組んでいるか。</p>	○	○	○	6
3 学 期	<p>ギター弾き歌い</p> <p>【知識及び技能】 ギターで3つのコードを学び、弾き歌う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 教科書以外の曲も考え、自分に合った曲を選ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 授業内練習に取り組む。自己評価や周りからの評価を聞き、自分の演奏能力を伸ばす。</p>	<p>Cavatina</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材：Tutti plus ・自由に選択 ・一人一台端末の使用：ギター 	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 教科書以外の曲も選択可能。英語の曲を選びソロで弾き歌う。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分に合った曲を選び、歌えているか。ギターの奏法、リズムを無理なく演奏できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 総合芸術において、物語と音楽の関わりがどのように影響しあっているか、音楽と他の文化との関係に関心を持ち、学習活動に取り組んでいるか。</p>	○	○	○	8
	<p>オペラ鑑賞</p> <p>【知識及び技能】 舞台芸術の特徴を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 楽器、声楽の音色、表現を感受し、理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽の歴史的、文化的背景を踏まえて、多様性を理解し、創造的に味わって鑑賞する。</p>	<p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材：Tutti Plus ：DVD 『椿姫』（Verdi） 	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 様々な舞台芸術の発声の特徴を生かして音楽表現をするために、必要な歌唱の技術を身に付け、創造的に感想が書けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特徴や雰囲気などを感受している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や歌詞の内容と関わりを持ち、舞台芸術のよさを創造的に味わって聴いている。</p>	○	○	○	4

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科： 芸術 科目： 美術Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：荒岡）

使用教科書：（光村図書出版「美術2」）

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映						
1 学 期	題材「自由なキャンパスに心の風景画を」(A絵画・B鑑賞) 【知・技】対象や事象を捉える造形的な視点を持ち、個性豊かに表す【思考力、判断力、表現力等】美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練る【学びに向かう力、人間性等】感性と美意識を高め、美術文化に親しむ	・油絵の特徴について理解し、制作に取り組む ・自己を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成する ・表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練る ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○			○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「自由なキャンパスに心の風景画を」(A絵画・B鑑賞) 【知・技】対象や事象を捉える造形的な視点を持ち、個性豊かに表す【思考力、判断力、表現力等】美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練る【学びに向かう力、人間性等】感性と美意識を高め、美術文化に親しむ	・油絵の特徴について理解し、制作に取り組む ・主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表す ・制作を通じて、自己を探求する姿勢を育む ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○			○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「自由なキャンパスに心の風景画を」(A絵画・B鑑賞) 【知・技】対象や事象を捉える造形的な視点を持ち、個性豊かに表す【思考力、判断力、表現力等】美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練る【学びに向かう力、人間性等】感性と美意識を高め、美術文化に親しむ	・制作を通じて、自己を探求する姿勢を育む ・制作を振り返り説明することで鑑賞を深める ・教科書の関連する項目を鑑賞する ・造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考える	○			○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	8
	題材「己を律するシンボルマーク」(Aデザイン・B鑑賞) 【知・技】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める【思考力、判断力、表現力等】自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める【学びに向かう力、人間性等】心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う	・生活や社会の中の美術の働きについての見方や感じ方を深める ・目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、主題を生成する ・教科書の関連する項目を鑑賞する			○	○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	8
2 学 期	題材「陶の造形～音を出す生き物」(A絵画彫刻・A映像メディア表現) 【知・技】意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。【思考力、判断力、表現力等】造形的な良さや美しさについて考える【学びに向かう力、人間性等】美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現の創造活動に取り組もうとしている。	・陶芸用粘土の素材に親しみ、想像上の生き物を表現する ・映像メディア表現の良さを生かして、作品を多角的に表現する	○		○	○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	8
	題材「己を律するシンボルマーク」(Aデザイン・B鑑賞) 【知・技】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める【思考力、判断力、表現力等】主題を生成し個性豊かに発想し構想を練る【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の創造的な諸活動に取り組む	・社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練る ・教科書の関連する項目を鑑賞する ・Illustratorを活用したカラーコーディネート			○	○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	8
	題材「己を律するシンボルマーク」(Aデザイン・B鑑賞) 【知・技】意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表す【思考力、判断力、表現力等】創造的な工夫から意図した表現をし、美術の働きを理解する【学びに向かう力、人間性等】感性と美意識を高め、美術文化に親しむ	・主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表す ・制作を振り返り説明することで鑑賞を深める ・教科書の関連する項目を鑑賞する			○	○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	8
3 学 期	題材「道を照らす灯火」(A彫刻・Aデザイン・B鑑賞) 【知・技】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさを味わい、個性豊かに発想し構想を練る【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の創造的な諸活動に取り組む	・自然や自己を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成する ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○	○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	8
	題材「道を照らす灯火」(A彫刻・Aデザイン・B鑑賞) 【知・技】個性豊かで創造的に表すことができる【思考力、判断力、表現力等】自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める【学びに向かう力、人間性等】心豊かな生活を創造していく態度を養う	・主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表す ・制作を振り返り説明することで鑑賞を深める ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○	○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	8

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 探究古典

教科： 国語 科目： 探究古典 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 2学年 1組
 教科担当者：（1組：塩野）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（新編古典探究（東京書籍））
 教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 探究古典 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期 中 間	単元名 説話文学を読む 【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めさせる。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 【主】進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、説話を正確に読み取らせる。	宇治拾遺物語 「小野篁、広才のこと」				○				6
	単元名 説話文学を読む 【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めさせる。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 【主】進んで和歌を含んだ説話を読み取り、学習課題に沿って展開のおもしろさを捉えようとしている。	十訓抄 「大江山の歌」					○			7
1 学 期 末	単元名 随筆文学を読む 【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めさせる。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 【主】進んで各章段の構成や展開、内容を的確に捉え、学習課題に沿って作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取らせる。	徒然草 「花は盛り」					○			5
	単元名 漢文 小話を読む 【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 【主】進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の成り立ちとその意義や漢文の受容について考えようとしている。	小話 「蛇足」「断腸」					○			7
	定期考査					○				1

2 学期 中間	<p>単元名 随筆文学、物語文学を読む [知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めさせる。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 [主] 進んで表現の特色に注意しながら、作品の内容を解釈し、学習課題に沿って『方丈記』に書かれている「無常観」について理解させる。</p>	<p>方丈記 「ゆく河の流れ」 竹取物語 「天の羽衣」</p>			<p>○</p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 [主] 進んで表現の特色に注意しながら、作品の内容を解釈し、学習課題に沿って『方丈記』に書かれている「無常観」について理解している。</p>	○	○	○	7
	<p>単元名 唐詩を読む [知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めさせる。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 [主] 進んでさまざまな唐詩を読み味わい、学習課題に沿って、言語感覚や想像力を豊かにさせる。</p>	<p>唐詩</p>			<p>○</p> <p>[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [主] 進んでさまざまな唐詩を読み味わい、学習課題に沿って、言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>定期考査</p>				○		○	○	
2 学期 末	<p>単元名 日記文学を読む [知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 [主] 進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、学習課題に沿って作者の意図を読み取らせる。</p>	<p>土佐日記 「馬のはなむけ」</p>			<p>○</p> <p>[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [主] 進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、学習課題に沿って作者の意図を読み取らせる。</p>	○	○	○	6
	<p>単元名 史記を味わう [知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 [主] 進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話合わせる。</p>	<p>四面楚歌</p>			<p>○</p> <p>[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [主] 進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話合っている。</p>	○	○	○	7
	<p>定期考査</p>						○		1
3 学期	<p>単元名 日記を読む [知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 [主] 進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、学習課題に沿って作者の意図を読み取らせる。</p>	<p>更級日記 「門出」</p>			<p>○</p> <p>[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [主] 進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、学習課題に沿って作者の意図を読み取っている。</p>	○	○	○	6
	<p>単元名 軍記物語を味わう [知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 [主] 進んで軍記物語の表現の特徴について整理・理解しつつ特徴を生かすよう工夫して朗読し、学習課題に沿って描かれた人物像を読み取らせる。</p>	<p>平家物語 「壇の浦の合戦」</p>			<p>○</p> <p>[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [主] 進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、学習課題に沿って作者の意図を読み取っている。</p>	○	○	○	6
	<p>単元名 中国の知恵を読む [知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 [主] 進んで古代中国のさまざまな考え方に触れ、学習課題に沿って寓話や故事成語の意味について理解を深めさせる。</p>	<p>塞翁が馬</p>			<p>○</p> <p>[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [主] 進んで古代中国のさまざまな考え方に触れ、学習課題に沿って寓話や故事成語の意味について理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>定期考査</p>			○			○	○	1